



# ICS2 フェーズ3: 技術的な準備

EUの税関到着前安全保障システムのフェーズ3である輸入管理システム2 (ICS2) に基づき、郵便および速達貨物を含む、海上および内陸水路、陸路、鉄道を利用してEU加盟国<sup>1</sup>に輸送される、またはEU加盟国を通過して輸送されるすべての貨物が新たな要件の対象となります。

影響を受ける事業者 (EO) は、ICS2に接続し、安全性とセキュリティに関するデータをEntry Summary Declaration (ENS) を利用して送信する必要があります。

## 誰が直接影響を受けますか？



海上および内陸水路、陸路、鉄道で  
搬送する輸送業者



乙仲業者



最終荷送人(海上輸送時)



郵便事業者



宅配業者

<sup>1</sup> すべてのEU加盟国ならびにノルウェー、スイス、北アイルランド。

## 最初に行うべきこと

影響を受ける事業者 (EO) は、ENSデータをICS2へ送信する際に、自社のITシステムを開発するか、ITサービスプロバイダー (ITSP) のサービスを利用するかを決定する必要があります。

また、どのようにENSデータを申告するかについて、サプライチェーン内のさまざまな関係者と早めに調整しておく必要があります。これは、サプライチェーンの関係者が、必要な商業文書データを輸送業者が利用できるようにすることに同意するかどうかによって異なります。

1. **同意した場合**、輸送業者は、必要なすべてのデータを完全なENSの形式でICS2に送信します。
2. **同意しない場合**、輸送業者の顧客は、関連する部分的なENSデータを自分でICS2に送信するか、サプライチェーン内の別の関係者 (EU加盟国を拠点とする海上輸送の荷受人など) が送信するように手配する必要があります。

誰が技術的な送信者 (貴社または貴社のITSP) であるかにかかわらず、送信者 (申告者または代表者) はデータの正確性、完全性および適時性に関して法的責任を負います。

## 技術準備を進める方法

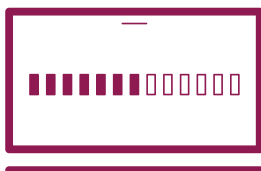
ENSデータをICS2に送信する関係者 (貴社または貴社のITSP) は、以下の準備が必要です。



1. いずれかのEU加盟国の税関当局から必ず**事業者登録および識別 (EORI)** 番号を取得してください。
  - a. EOが送信者かつ申告者である場合、EORI番号は1つのみ必要となります。この番号は両役割に使用できます。
  - b. EOがITSP (送信者) と協働する場合、両者は各自EORI番号を取得して認証を登録し、ENSメッセージを送信する必要があります。



2. 国家関税行政の担当者 (EORIの発行者) に連絡し、自己適合性試験を実施し、ICS2業務を開始するための**計画<sup>2</sup>**を提出します。



3. 最新のICS2の共通機能および技術システムの仕様 (**CFSS**および**CTSS**) に基づき、自社の**ITシステム**を開発または更新します。



4. 貴社の識別情報の認証を受けるために**トラステッドリストのリスト (LOTL)** に記載される認証局から必要なデジタル認証を取得します (送信者のみに適用)。

- a. **メッセージを確認するための認証 (インターフェイス制御文書であるCTSSで定義)**:

- › LOTLに記載される**認証局**から取得する必要があります。
- › 送信者が所有し、送信者のEORIとリンクされているものとします。
- › 国家／中央統一ユーザー管理デジタル署名 (UUM&DS) システムに登録されている必要があります。このシステムは、EUの税関電子システムへの安全で認可されたアクセスを可能にします。

- b. https接続を暗号化する**トランスポート・レイヤー・セキュリティ (TLS)** 認証:

- › 信頼できる商業認証局より取得する必要があります。
- › 識別目的でトランスポート・レイヤー (https) で使用されます。
- › UUM&DSシステムでの登録は不要です。



5. 必須の**自己適合性試験**を実施します。

<sup>2</sup> EOがスイスまたはノルウェーを拠点とする場合、EORI番号を任意のEU加盟国で登録することができます。ただし、EOは、自国の税関当局に計画を提出する必要があります。



## 自己適合性試験の実行方法

- EO適合性試験のシナリオおよび事例に関する**自己適合性試験機構の文書**および試験デザインの仕様に定める手順を確認します。
- システムにアクセスするため、ICS2適合環境のUUM&DSにユーザーおよび役割の作成リクエストを**ナショナル**
- UUM&DS認証情報(国家サービスデスクより取得)を使用して、**共有トレーダーポータル**に接続します。
- 役割と試験シナリオを選択して適合性試験を実行します。質問がある場合は、加盟国の国家サービスデスクにお問い合わせください。

### 必須の自己適合性試験を実行するための接続に関する2つの選択肢:

- システム間接続の場合、AS4のICS2アクセスポイント进行操作するTLS相互認証接続を設定します。
- ユーザーシステム間接続の場合、共有トレーダーインターフェイス - 特定トレーダーポータル(STI-STP)に接続します。

## 自己適合性試験について知っておくべきこと

- 自己適合性試験は必須です。**ITシステムが、ICS2への技術メッセージの送受信に使用され、ICS2のオペレーションを実行する準備が整っていることを確認することを目的とします。
- 自社のシステムがICS2に既に接続されている場合(貴社が乙仲業者、宅配業者、郵便事業者など空輸輸送に携わっている場合)は、フェーズ3用の新規業務プロセスの試験のみが要求されます。
- 初めてICS2に接続する場合、すべての主要プロセスを試験する必要があります。
- 自己適合性試験は、EOの役割および活動に応じて異なります。

## 輸送業者への通知

- 輸送業者がITSPを使用し、ICS2から通知を受信することを選択した場合、運送業者はEORIをUUM&DSシステムに登録する必要があります。また、輸送業者は、STI-STPを利用してアクセスポイントを設定し、それに従って環境設定を構成する必要があります。

## 重要な日付



- さらなる情報またはサポートをご希望の場合は、貴社のEORI番号が登録されている加盟国の**国家サービスデスク**にお問い合わせください。
- 文書共有プラットフォーム「CIRCABC」**で英語の文書(仕様、エラーコード、研修資料およびFAQ)をご確認ください。



ICS2に向けて準備しましょう  
詳細については、次のWEBサイトを参照してください:  
[ec.europa.eu/ICS2](https://ec.europa.eu/ICS2)



Publications Office  
of the European Union